カヤネット新聞

第2号
2006年3月11日（土）

編集長：金尾滋史
副編集長：畠佐代子

全国カヤネズミネットワーク
info@kayanet-japan.com

全国カヤマップ2005年度版完成!!

詳細はホームページにて公開中、さらに特別版も出版

http://www.kayanet-japan.com/map/

二〇〇五年度版発行にあたって

「全国カヤマップ二〇〇二特別版」出版から三年が経過しました。以後新たに蓄積された情報を具体的なカヤ原の保全計画につなげるために、今回、二〇〇三、二〇〇四、二〇〇五年度の三年分のデータを取りまとめた二〇〇五年度特別版を発行する運びとなりました。本書をカヤネズミが生息する貴重な生態系をより深く理解するための手引きとして、具体的且つ広範囲な自然保護活動の推進に役立ていただけることを願っています。

本書の発行と並び、営巣植物の種名を調べる自主学習ツールとして「営巣植物Web図鑑」を開設しました。植物を見分けることができるようになれば、カヤネズミの暮らしぶりやカヤ原の植生に対する人々の関心がさらに高まるのではないかと期待しています。

本書の作成にあたり、貴重なデータや資料を提供して下さった全国の個人、NGO、研究機関、博物館、行政の皆様に深く感謝します。また、全国カヤマップ二〇〇三・二〇〇五年度の調査は、「セブンーイレブンみどりの基金」の助成を受けました。ご支援をいただいたセブンーイレブンみどりの基金委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。

二〇〇六年三月
全国カヤネズミ・ネットワーク
代表　畠　佐代子

カヤマップ2005特別版
～カヤ原保全への提言　Part2～
＜内容紹介＞

もくじ 1
2005年度版発行にあたって 2
「カヤネズミ」をご存じですか？ Part2 3
2003～2005年の調査結果 4～13
・概要 4～6
・提言 7
・カヤマップ 8～9
・＜地域別＞生息情報件数 10
・＜地域別＞営巣期間と繁殖期 11
・＜地域別＞営巣環境 12
・＜月別＞営巣に利用された植物の種類と割合 13
RDBランク状況改訂版 14～15
イラスト：二階建て球巣?! 16
コラム：「身近な植物」とは 17
カヤニストレベルアップ講座 18～23
・ススキとオギの見分け方 18
・HOW TO MY 植物図鑑 19～21
・カヤネズミQ&A 22～23
コラム：ネズミの妖怪・東西対決 24～25
ヨシ笛を作って遊ぼう！ 26
特別企画「あなたの好きな球巣は？」 27
参加者（団体）一覧 28～29
「全国カヤマップ」生息情報募集のお知らせ 30
カヤネズミ生息調査記録シート 31
製作スタッフ 32

全国カヤネズミ・ネットワークとは？

全国カヤネズミ・ネットワーク（略称カヤネット）はカヤネズミ保護を基本理念として、河川敷や里山など人間生活に近い環境にある生物の保護と生息地の保全を進めることを目的として二〇〇一年七月に設立されました。会員は二〇〇五年四月一日現在で六二名です。会員は専門家だけでなく、学生や一般のナチュラリストまで幅広く構成されています。

主な活動は、

一．カヤネズミ保護と生息地の保全を目的とする調査研究活動。

二．里山や河川敷に暮らす野生動物と人間生活の関わりを考え、自然環境の保全や生態系への理解を深めるための普及・啓蒙活動。

三．行政に対する、自然環境・生態系への負の影響を押さえる方策の提案・提言。

四．一～三のための情報交換。

の四つであり、会員限定のメーリングリストやメールニュース（月一回）により、より深い知識や技術の向上、会員同士のコミュニケーションを図っています。活動成果はホームページに掲載するとともに併設している掲示板「保全ゼミ@オンライン」にて対外的に広く情報交換と知識の共有を図っています。

定価：カヤネズミへの愛、
priceless

カヤ原の感動を描いた
あの3つの名作がついにDVD化!!

カヤのソナタ
主演：ペ・ヨンチュン、チュ・ジウ

いま、会いにゆきまチュ
主演：タケウチ　チューコ、ナカムラ　チュドウ

茅原のチュー心で愛をさけぶ
主演：オオチュウ　タカオ、チュバザキ　コウ

価格　一枚2500カヤ

初回限定予約特典
新芽で作るヨシ笛付き

待望の新刊登場!!
カヤニストへの道
「私はこうして巣を見つけた」
ベスト・オブ・カヤニスト二〇〇五に輝いたW氏が語る十の秘訣
カヤハラ出版
価格未定

販売未定
週間Kaya-Chu
K津川河川敷のメス100個体に聞きました
あなたの理想の巣材は何？
オギ、ススキ、イネ、チガヤ、セイバンモロコシ…現在流行の巣材を一挙大公開！
ここまできた！都道府県版レッドデータブックから見たカヤネズミの危機
上手な巣の管理術　巣耐久率ナンバー1が語る管理手法とは
どこまで増える？カヤネズミグッズ
カヤネズミに迫る危機
追りくる河川改修、一斉草刈りにどう対応すればよいのか
河川敷をお花畑にしないで！私達の想い

特集　見つけるか逃げ切るか
カヤニスト VS カヤネズミ　ガチンコ十番勝負

カヤネズミのトリビア
カヤネズミは、バッタを捕まえて、食べる。
カヤネズミは、超音波を出す。

全国カヤネズミネットワーク2005年度の活動

●桂川生物保全ネットワーク参画
●メールニュース「カヤネット通信」第二四号発行
●NPO法人ウエットランド中池見主催「やさしい中池見見学パートⅡ　かやねずみに会いに行こう」に協力
●「探してみよう　泉北の自然」のカヤネズミのトピック作成に協力（「泉北の生き物」→「ほ乳類」に収録
●第九回カヤネット観察会（近畿部会　春の観察会　開催日二〇〇五年五月二九日　場所　京都府八幡市
●ポストカード「全国カヤマップ二〇〇四特別版」を製作
●メールニュース「カヤネット通信」第二五号発行
●メールニュース「カヤネット通信」第二六号発行
●「全国カヤマップ・プロジェクトin二〇〇五」スタート
●メールニュース「カヤネット通信」第二七号発行
●巨椋池干拓地環境保全ワークショップのPR冊子『巨椋だいすき！』製作に協力
●メールニュース「カヤネット通信」第二八号発行
●第一回カヤネット調査会（関東部会　実施日　二〇〇五年八月二十七・二十八日　場所　山梨県山中湖村）
●第一二回カヤネット調査会（関東部会　実施日　二〇〇五年九月一八日　場所　静岡県裾野市）
●第二回桂川生物多様性フォーラム共催（二〇〇五年十月一六日）
●第十回カヤネット観察会（近畿部会　秋の観察会　開催日二〇〇五年十月二三日　場所　滋賀県多賀町
●第一三回カヤネット調査会（関東部会　実施日　二〇〇五年十月三〇日　場所　東京都あきるの市）
●「全国カヤマッププロジェクトin二〇〇五」中間報告
●メールニュース「カヤネット通信」第三一号発行
●メールニュース「カヤネット通信」第三二号発行
●「全国カヤマップ二〇〇五年度版」掲載
●「全国カヤマップ二〇〇五年度版～カヤ原保全への提言Part2」出版
●「営巣植物Web図鑑」開設
●メールニュース「カヤネット通信」第三三号発行

巣で育つカヤネズミの兄弟　山田勝さん撮影

オギで出来たカヤネズミの球巣　鑛山宗利さん撮影

この人に聞け！

今回は、当会会員で、「カヤ原の夢」や「冒険に行こう、じいちゃん」を執筆されておられる杏有記（あんずゆき）さんにお話を伺いました。

☆まず、自己紹介をお願いします

書くこと＆動物大好き人間。しいて言えば、どんな小さなものにでも「命」を感じて、それが書くことの原点になっているかも。仕事としては、児童文学と動物がらみのノンフィクション、ネイチャー系のラジオ原稿などを書いています。以前はパッチワークやスポーツジムなどあれこれ楽しくやっていましたが、最近は犬のお散歩1時間、もしくはスクワット100回というノルマ（？）をのぞけば、ほとんど書くことがらみで時が過ぎています。ただし、一番多いのは、ぼーっとしている時間です。

☆カヤネットに入会した理由は何でしょうか？

環境問題に関わっている伯父に頼まれて、カヤネズミ情報連絡先を畠さんに尋ねたのが、そもそものきっかけでした。感覚人間なので、そのとき「カヤネズミ」のことを何も知らないくせに、カヤネズミネタで物語（カヤ原の夢）を書こう、と思い立ったわけです。そして、畠さんに取材させてもらい、カヤネットに興味を持ちました。門外漢で、皆さんの豊富な知識や行動力に、いつも感心するばかりです。

☆「冒険に行こう、じいちゃん」の裏話を教えてください

んんん。出版社に怒られそうですが……。最終〆切の土壇場で、挿絵画家さんの絵が物語の設定と違うことを発見（キッチンはダイニングから見えないはずが、食卓の真横にあった）。絵より文章を変える方が早いというわけで、私が文章を書き換えたんですけど、シーンが何カ所もあるわ、時間はないわで、とってもきつかったです。なんでこうなるんや～！と心の中でさけびましたね。なんか、ぎりぎりになってばたばたする定めなのかなあ（この原稿も同じく★）。

☆最後にこのカヤネット新聞の読者へのメッセージをお願いします

いつも思うのですが、環境を守ろうとしている人は、みんな手弁当で交通費も持ち出しで、それでも一生懸命がんばっていますよね。ところが、一方では利益のために自然を台無しにする人間もたくさんいます。この意識の差はいったい何なんでしょう。嘆いていても仕方ないから、私は私にできること、つまり書いて伝えるという形で、あきらめずに自然保護をうったえていきたいと思います。お互いにがんばりましょう！

◆杏有記さんの著書◆

『冒険に行こう、じいちゃん』二〇〇五年、文研出版、一二六〇円

『小さないのちはどこへ行く？ペットを飼う人たちに知ってほしいこと』二〇〇四年、ハート出版、一三六五円

『カヤ原の夢』二〇〇三年、盲導犬サーブ記念文学賞委員会・編、一三〇〇円、

※『カヤ原の夢』は書店では取り扱っておりません。詳しくはカヤネットのホームページをご覧下さい。

編集談後記

▼今回、私自身は滋賀県で開催されているとある魚類の研究会に参加するため、この大阪自然史フェスタには参加することができませんでした。カヤネット近畿部会のリーダーを仰せつかりながら、フェスタに参加できないのは大変残念でしたので、せめてもの償いに・・・という気持ちがこのカヤネット新聞の編集長を引き受けました。▼とはいえ、構想だけは浮かぶものの他の作業などとの兼ね合いもあり、なかなか手が進みません。そんなこんなをしていたら、あっという間に当日が来てしまいました。この文章を書いている時点でなんと十一日の朝六時。周囲ではすでにスズメやヒヨドリが鳴いており、すっかり明るくなってきました。▼毎回毎回のことですが、私自身はギリギリにならないと仕事ができないタイプでしかも凝り性なので、一つのことをやり始めたらとまりません。まあ、その甲斐あってか、今回の新聞は自分でもかなり納得のいく形に仕上がりました。ためになる話しあり、笑いありの内容になっておりますので、是非ご一読いただき、感想も聞かせてもらえればと思います。▼カヤネットは立ち上げ当初から加入させていただいておりますが、正直今までは何もお手伝いできぬまま事の機会があれば少しずつでもと思います。▼それでは、私はこれから今日の研究会のプレゼンテーション資料を作ります・・・。